

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|------------------|-------|-----------------|------|----|-------|--------|---------|------|---------|----------------------|------|----------------|--|
| 科目区分 | 教養科目 | 授業科目名 | デモクラシーと現代史 | | | 科目コード | 25L010 | 担当者 | 船勢 肇 | | 担当形態 | 単独 | | |
| 対象学科・コース | 生活創造学科 地域未来創生コース | 配当年次 | 2年次 | 開講学期 | 前期 | 単位数 | 1 | 必修・選択の別 | 選択 | 免許・資格要件 | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 履修条件 | | | | | | | | | 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等 | 科目区分 | | |
| 実務の経験を有する教員担当科目 | | | 実務の経験内容及び科目との関連 | | | | | | | | | | 科目に含めることが必要な事項 | |

| | | | |
|-------|---|--------------------------|--|
| 授業の主題 | 現代社会にとって重要なデモクラシーについて、歴史の勉強をしながら理解を深めます。デモクラシーとは、すばらしいものといわれながら、幻滅されることもしばしばです。この悩ましい特質を理解し、社会の未来に向けて展望を開く材料をいくつかでも提供することを目的とします。 | 課題等への対応 (フィードバックの方法等) | 授業の内容を確認できるプリントを配布し、質問も記入する欄を設けます。適宜、その内容について講義でふれていきます。 |
| 授業の方法 | 高校レベルの基礎的な歴史の知識を抑えながら、「ポピュリズム」「戦争」「新自由主義」といった主題を扱います。映像資料を多く用いて、適宜アクティブラーニングをおこないます。 | アクティブ・ラーニングの実施方法 | グループディスカッションや、記述をおこないます。 |

| 回数 | 授業計画 | 事前・事後学修 | |
|-----|--------------------------|------------------------|-----------|
| 第1回 | なぜ国家が生まれたのか 資本主義と近代国家の成立 | プリントをみながら、小レポートを書く。 | |
| 第2回 | 戦争と欲望 なぜ戦争が起こったのか | 講義と映像を振り返りながら、内容を確認する。 | |
| 第3回 | ファシズム 熱狂した大衆 | 講義と映像を振り返りながら、内容を確認する。 | |
| 第4回 | 「無責任の体系」 近代日本の特質 | 講義と映像を振り返りながら、内容を確認する。 | |
| 第5回 | 第2次世界大戦を知る | 講義と映像を振り返りながら、内容を確認する。 | |
| 第6回 | 資本主義とマルクス主義 小さな政府と大きな政府 | 事前に紹介した基本的な用語を調べる。 | |
| 第7回 | ポピュリズムと新自由主義 | 事前に紹介した基本的な用語を調べる。 | |
| 第8回 | まとめ | これまでの内容を振り返る | |
| | | 事前・事後学修時間 (分/授業1回) | 180分/授業1回 |

| | | | |
|---------------------|-------|------------|-------------------------------|
| 教科書 [書名/著者名/出版社] | 教科書なし | 受講生へのメッセージ | 大きな俯瞰的な視点から自身の位置や役割を考えてみましょう。 |
| 参考書 [書名/著者名/出版社] | なし | | |

